

週末はモータースポーツを楽しもう!!



JAF

JAPAN AUTOMOBILE FEDERATION

LET'S ENJOY MOTOR SPORTS!!



モータースポーツが
もっと好きになる!!

ライセンスを取



いつでも気軽にゲットできる

Bライセンス

ライセンス取得と聞いて難しい試験に高いドライビング技術が必要とは思っていないだろうか？ だが「国内Bライセンス」の場合、普通自動車免許を持っていれば約2時間の座学講習でライセンスを取ることができる。しかもこれ一つで、ジムカーナ、ダートトライアル、サーキットトライアル、そしてラリーの競技に出場ができるのだ。Bライセンス講習会は全国各地で開催されており、土日祝日はもちろん平日の夕方にも行っていて、いつでも受講できる。モータースポーツを始めたいと思っている人は要チェックだ。

モータースポーツを 見に行こう!!

まずは国内Bライセンスで出場できるレースを実際に見に行ってみよう。自分もこんな車に乗ってみたいとか、こんな道走ってみたいというのが実感できるはずだ。



受講をする前に確認しよう

普通自動車免許の資格があれば受講は可能。またJAFの個人会員になる必要があるが、入っていないでも講習会場でも入会することができる(入会金¥2,000、年会費¥4,000円)。JAFのホームページや総合案内サービスセンターに問い合わせて、講習会の場所と日時を確認したら、主催者に直接電話して申し込もう。

4輪自動車競技用「国内Bライセンス」

★講習会受講料:約¥5,000(教材費込み)

★ライセンス発給料:¥3,000

★JAF入会金+年会費:¥6,000

講習会スケジュール等のお問い合わせ

JAF総合案内サービスセンター(0570-00-2811)

JAFホームページ <http://www.jaf.or.jp/msports/>

Challenger



藤澤拓也 Takuya Fujisawa
1986年6月5日生まれ
長野県出身 身長:183cm

講習会を受講しよう

Bライセンス講習会では、競技規則やマナー、モータースポーツを始めるにあたっての心構えなどを学ぶ。実技講習や筆記試験はない。



講義では、フラッグ(旗信号)の意味なども教えてもらう。



Bライセンス講習会は全国で開催されている。



会場に到着したら、まず受付を行う。



やさしい講師の方がわかるまで丁寧に教えてくれる。



JAFの支部主催の講習会ならその場で仮ライセンスがもらえる。クラブ主催の講習会では発給手続きを主催クラブが代行してくれる(有料)。

ライセンス交付の 申請をしよう

講習終了後に受け取る競技運転者許可証交付申請書のほか、本人の写真、ライセンス発給料(¥3,000)を持って、JAFの地方本部または支部に行こう。申請は郵送でも受け付けてくれる。



実際に競技会に 出してみよう

ライセンスを取得したらJAFのホームページや、JAFから送られてくる雑誌の『JAFスポーツ』などで希望の競技会を探して申し込みをする。あとは競技会に出場するための必要なアイテムを揃えて競技会にチャレンジだ。

レースに出場するならAライセンスへStep Up!!

上記のBライセンスで参加できる競技は、ジムカーナ、ダートトライアル、サーキットトライアル、ラリーなど、タイムを競う競技だ。それに対して、フォーミュラカーレースや市販車がベースのツーリングカーレースなど、サーキットを舞台にライバルたちと競争するのがレースだ。そのレースに出場するにはAライセンスが必要となる。Bライセンスを取ったら是非Aライセンスにも挑戦し、モータースポーツをもっと楽しもう! 詳しくは裏面「Aライセンス」を参照。

B License challenge!!

ってレースに出よう!!!!

(モータースポーツ)



誰でもレースに出場できる
カートライセンス

テーマパークなどにあるゴーカートに乗った経験のある人も多いと思うが、その本物は体感速度が100km/hを超える小さなレーシングマシンなのだ。このカートに乗ってレースに出場するために必要になるのが「カートライセンス」である。このライセンスを持つには、競技規則やマナーを教える講義と、実技講習、筆記試験を含んだ半日のカートライセンス講習会を受講する必要がある。だが講習会は10歳の子供が受けられるぐらいにやさしいので、運転の自信のない女性でも心配ない。このライセンスを持っていれば、さまざまなカートレースに出場できるようになるのだ。

○撮影協力:新東京サーキット

Challenger



リマ Lima
1985年5月28日生まれ
ブラジル出身
身長:173cm
B:83 W:58 H:88



カートを実際に体験してみよう

まずは全国のカートコース場やカートショップが行っているレンタルカートを体験して、カートを運転する楽しさを体感してみよう。

受講をする前に確認しよう

最初に取得するライセンスは、10～14歳はジュニアB、15歳以上は国内B。18歳以上の場合は、JAF個人会員に入会する必要があるが、講習会会場で入会することができる。講習会を行っている日程や場所は、JAFホームページやJAFの総合案内サービスセンターに問い合わせ、主催者に直接電話して申し込もう。

カート競技用
「カート国内Bライセンス」
「カートジュニアBライセンス」
☆講習会受講料:¥20,300以内(レンタルカート代金、教材費は実費)
☆ライセンス発給料:国内B:¥3,000、ジュニアB:¥1,500
☆JAF入会金+年会費:¥6,000(18歳未満は不要)
講習会スケジュール等のお問い合わせ
JAF総合案内サービスセンター(0570-00-2811)
JAFホームページ <http://www.jaf.or.jp/msports/>

講習会を受講しよう

カートライセンスの講習会はカート走行の方法やルールとマナーについての講義、学んだことを確認する筆記試験、実際にカートに乗る実技講習の3つに分かれている。難しそうに思われるが10歳でも合格できるぐらいに、講師の方がしっかりとアドバイスをしてくれるからぜひチャレンジしよう。



カート走行でのルールやマナーを学ぶビデオ講義もある。



講義終了後に筆記試験。まじめに受講していれば誰でも解答できる。



ルールやマナーを学んだら次は実際にカートに乗って実技講習。ヘルメットも借りられるから手ぶらで受講できる。



右がアクセル、左がブレーキ。操作方法もしっかりレクチャーしてくれる。安全運転でいざスタート!

ライセンス交付の申請をしよう

講習会が終わったら、カートライセンス交付申請書、本人の写真、ライセンス発給料(国内B級ライセンス¥3,000、ジュニアB級ライセンス¥1,500)をJAFの地方本部または支部に持参する。申請は郵送でも受け付けてくれる。

実際に競技会に出てみよう

ライセンスが届けいたらヘルメットやレーシングスーツ、カートなどを用意すれば立派なカートレーサー。レンタルカートでも出場できる競技会もあるので、JAFのホームページまたはカート場のホームページなどで、自分に合った競技会を探そう。



気軽に友人同士で腕を競い合えるのもカートの魅力。無茶な走行はせずに、ルールとマナーを守って楽しい走行を心がけよう。

Kart License challenge!!

●モータースポーツの入門ライセンス
Bライセンス

ビギナーにお勧めのBライセンス。約2時間の講習を受けるだけで取得できる。詳しくは中面の左ページを参照。

●AライセンスにもTRY!!
Aライセンス

まずはBライセンスを取得し、ジムカーナなどの公認競技に出場することで、Aライ講習会の受講資格を得ることができる。Aライ講習会は、規則やサーキット走行の講義と筆記テスト及び実技走行テストで構成されている。Bライを取った後は、是非AライにTRYしよう!!

●子供から大人まで手軽に楽しめるのが魅力
カートライセンス

10歳から取得可能なライセンス。手軽さも魅力の一つだが、体感速度は優に100Km/hを超え、大人から子供まで楽しめる奥深さも魅力だ。詳しくは、中面右ページへ。

●大会に運営スタッフとして参加できる
オフィシャルライセンス

モータースポーツを公平、安全かつ円滑に運営するために欠くことのできない存在が、公認審判員つまり“オフィシャル”だ。Bライ講習会は実はオフィシャルライセンス講習会も兼ねているので、Bライ受講者は料金を添えて申請するだけでオフィシャルライセンスが取得できてしまう。レースのスタッフとして参加することで、ドライバーとは違った体験や喜びを味わうことができるぞ!!



カテゴリー情報

Race レース

サーキットを舞台にライバルと闘う自動車競技



複数台のマシンが一斉にスタートし、誰が最も早く規定のレース距離・時間を駆け抜けるかを競うモータースポーツ。市販車をレース用に改造して競うツウリングカーレースと、競技専用で設計されたマシンで競うフォーミュラカーレースの2つに大別される。レースに出場するためにはBライの上級の国内Aライセンスの取得が必要となる。

Rally ラリー

公道を舞台に繰り広げられるモータースポーツ



国内モータースポーツの中で唯一公道を使って行う競技がラリー。走行ルートの目印が示された地図や指示速度に従ってチェックポイントをクリアし、その正確さを競う。ラリーは、ターマック(舗装路)やグラベル(未舗装路)を中心に、初級向けから全日本選手権まで数多く開催されている。案内役のナビゲーターと2名での参加となり、協力が勝負のカギを握る。

Gymkhana ジムカーナ

競技時間わずか90秒! 集中力が勝負の決め手



舗装されたコースを2回アタックし、そのベストタイムで競うのがジムカーナ。舗装された広場にパイロンを立てて作られたコースで行うパイロンジムカーナや、カートコースを使用するコースジムカーナがある。一般的には競技時間は1分半程度で、1000分の1秒を競う。ジムカーナは、Bライセンスの取得と普段乗っている車で参加可能だ。

Circuit Trial サーキットトライアル

レースの予選のような緊張感と、一発のタイムに賭ける醍醐味が味わえる



順番にコースインしてサーキットを数周し、各自のベストタイムで順位を競う競技。1997年に制定された比較的歴史の浅いモータースポーツ。レースのように他のクルマとバトルをすることはないが、サーキットを思いっきり走るのがサーキットトライアルの魅力だ。

Dirt Trial ダートトライアル

滑るクルマをいかにコントロールするか



未舗装路のコースを使用して行われるのがダートトライアル。通称ダートラとも呼ばれ、競技形態はジムカーナと同じで競技時間は2分程度。同じレイアウトのコースを2本アタックし、ベストタイムで順位を競う。当日朝は、練習走行の代わりに歩いて下見をするのがお約束。ドリフト走行にハマること間違いなし!

Kart カート

子供から大人まで手軽に楽しめるのが魅力



最も手軽に参加できる4輪モータースポーツ。車体は、ワゴン車の荷台に積んで運べるほどコンパクトだが、フォーミュラマシンに匹敵する加速とコーナリングスピードを発揮する。10歳からレースに参加することができ、親子で楽しむことができるのも魅力の一つだ。まずは、友達を誘ってレンタルカートの体験から始めてみよう。



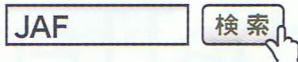
ライセンス取得情報・モータースポーツ観戦情報はJAFホームページへ

ライセンス講習会のスケジュールや申請方法などは、国内モータースポーツを統括しているJAFのホームページで確認しよう。もちろんモータースポーツを見て楽しみたいという観戦派の方も大満足のレース情報も満載だ。

主なコンテンツ

講習会スケジュール・ライセンス取得情報・各種競技会カレンダー・全国のコースガイド・モータースポーツの諸規則の変更のお知らせ・全日本選手権の競技結果 他

<http://www.jaf.or.jp/msports/>



携帯サイトでもモータースポーツ情報を手軽に情報GETできる!!

<http://jafmbi.jp/>

